

## 第3部

# 施策の展開

注

**新規** : 新規に実施する事業。

: 各事業の内、複数の事業を含むもの  
については、事業内容のところに  
で明記。

## 基本目標 1 地域で子育てを支援するために

- ( 1 ) 情報提供・相談体制の充実
- ( 2 ) 地域における子育て支援サービスの充実
- ( 3 ) 子育て支援のネットワークづくり
- ( 4 ) 経済的支援の充実
- ( 5 ) ひとり親家庭への支援の充実
- ( 6 ) 障害児のいる家庭への支援の充実

## 基本目標 1 地域で子育てを支援するために

### 主要課題 1 情報提供・相談体制の充実

#### 現状と課題

核家族化や少子化の進展により、子育ての知識や技術が、祖父母から親へ、親から子へと継承されにくくなっています。その一方では、マスコミ等のメディアを通じて子育てについての情報が氾濫しています。

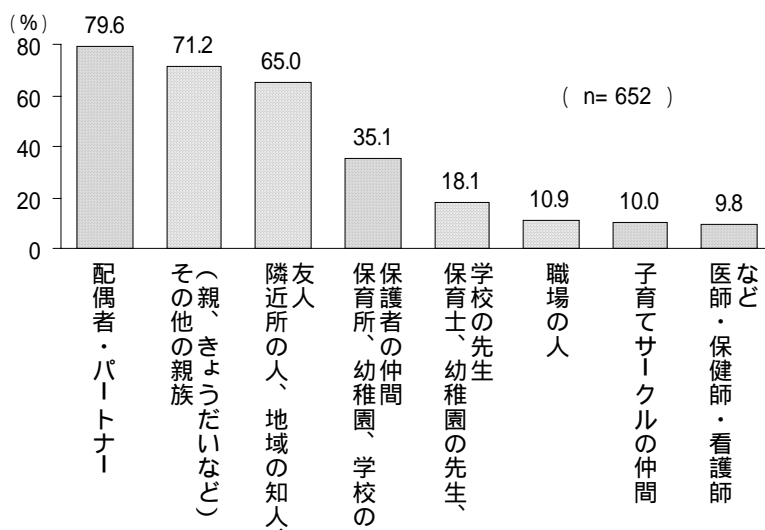
また、一般に若い親の場合、核家族の中で育ったケースが多く、乳幼児とふれあった経験が乏しいのが現実です。

このような状況の中で、地域から孤立し、家庭の中で子育ての不安を抱え、その負担に苦しんでいる親が増加しています。そのため、親が育児ノイローゼになったり、さらに児童虐待にまで及ぶケースも見受けられます。また、子育ての悩みは、子どもの成長段階や一人ひとりの個性に応じて内容が異なります。

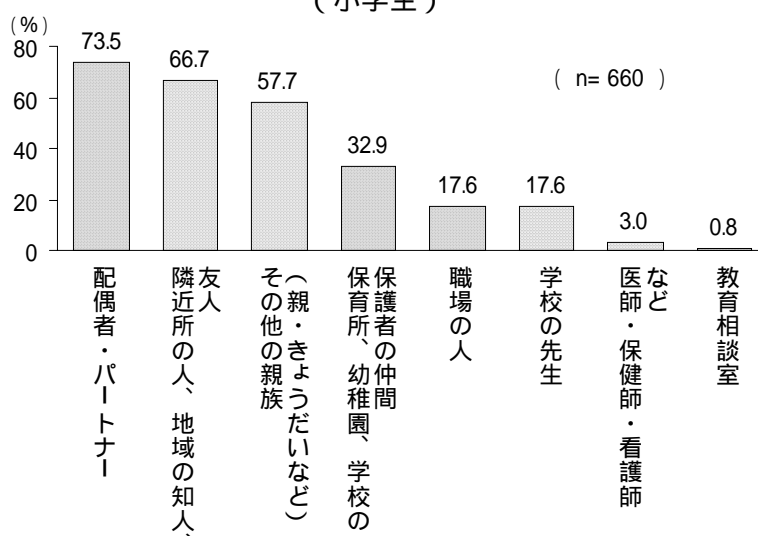
今後は、情報提供や関係各課との連携・調整、相談機能を充実させるとともに、総合的な相談体制の構築に向けた検討も必要です。また、親同士が交流できる場を積極的に提供していくことが重要な課題といえます。

## 子育てに関する悩みの相談相手（上位8位）

### （就学前児童）



### （小学生）



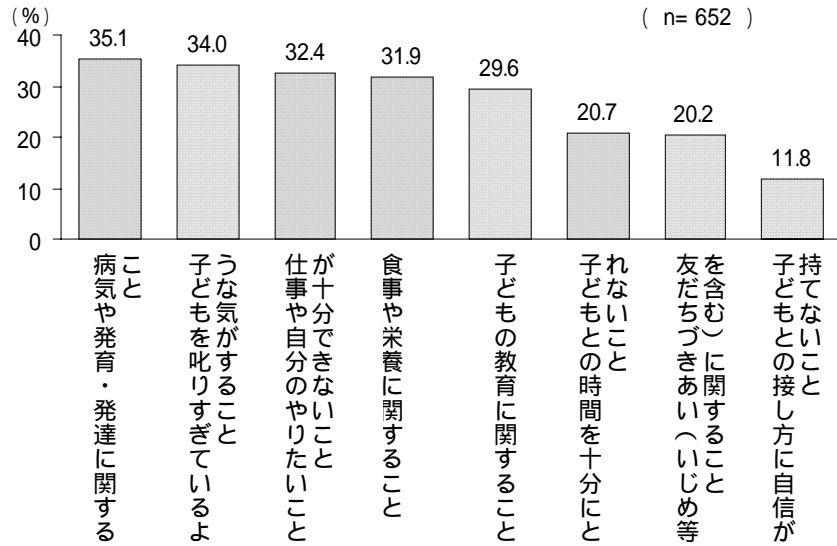
就学前児童調査の子育てに関する悩みや不安の相談相手としては、「配偶者・パートナー」が79.6%で最も多く、以下「その他の親族（親、きょうだいなど）」（71.2%）、「隣近所の人、地域の知人、友人」（65.0%）の順で続いています。

小学生調査の子育てに関する悩みや不安の相談相手としては、「配偶者・パートナー」が73.5%で最も多く、以下「隣近所の人、地域の知人、友人」（66.7%）、「その他の親族（親、きょうだいなど）」（57.7%）、「保育所、幼稚園、学校の保護者の仲間」（32.9%）の順で続いています。

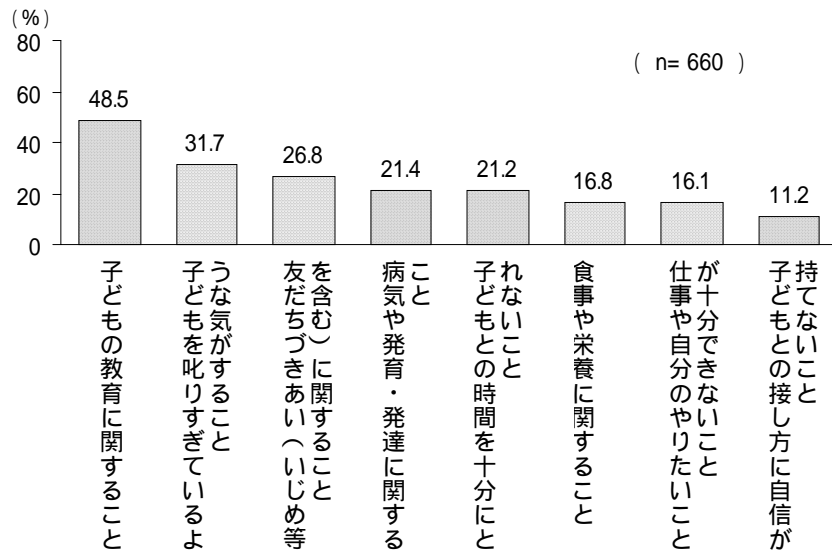
（資料：三芳町 次世代育成支援に関するニーズ調査報告書 平成16年）

## 子育てで日常悩んでいること（上位8位）

（就学前児童）



（小学生）



子育てに関して日頃悩んでいることや気になることとしては、「病気や発育・発達に関すること」（35.1%）、「子どもを叱りすぎているような気がする」（34.0%）、「仕事や自分のやりたいことが十分できない」（32.4%）、「食事や栄養に関する」（31.9%）、「子どもの教育に関する」（29.6%）の5項目が3割前後を占めて、特に多くなっています。

子育てに関して日頃悩んでいることや気になることとしては、「子どもの教育に関する」が48.5%で最も多く、以下「子どもを叱りすぎているような気がする」（31.7%）、「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関する」（26.8%）の順で続いています。

（資料：三芳町 次世代育成支援に関するニーズ調査報告書 平成16年）

## 具体的事業

事業名	事業内容	担当課
1 子育て情報の提供 新規	子育てに関する各種情報・講座・教室の案内等の情報を、広報や情報紙、ホームページ等での確に提供するように努めます。  パンフレットの配布 ホームページの活用	福祉児童課
2 子育てガイドブックの作成 新規	子育てに関係する様々な情報を提供し、子育て家庭を支援するため、「子育てガイドブック」を作成します。	福祉児童課
3 各種相談の充実	育児相談、児童相談など、各種相談事業を充実させます。  育児相談 療育相談	福祉児童課 環境衛生課
4 子育て相談体制の充実	親たちが子育ての悩みなどを気軽に相談できるよう、子育て支援センターを核として、保育所等を有効に活用し、相談体制の充実に努めます。  子育て支援センターにおける相談 保育所における電話相談	福祉児童課
5 各種相談の連携	各種相談窓口と保健所、児童相談所、民生委員、子育て支援センター、保健センター、保育所など関係機関等との連携の強化を図ります。	福祉児童課 環境衛生課
6 相談担当職員の充実及び適正配置	親たちの子育て相談に適確に対応できるよう、相談担当職員の知識・能力の向上を図るとともに、職員の適正配置に努めます。	福祉児童課

## 主要課題 2 地域における子育て支援サービスの充実

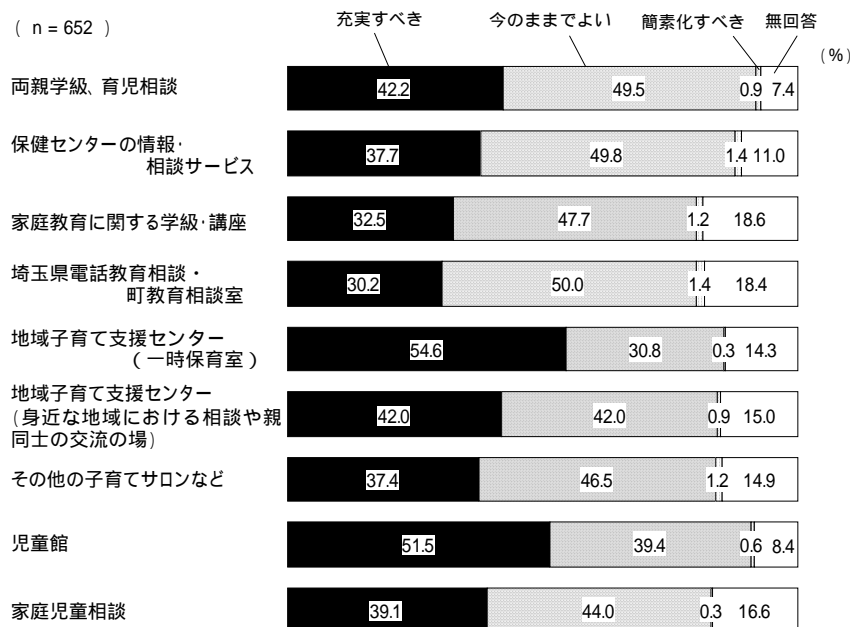
### 現状と課題

現代社会においては、地域社会における人と人とのつながりが希薄化しています。そのため、近所同士で子育てを助け合うということが少なくなり、家庭の育児負担が増加しています。

核家族化、育児責任の母親への集中や父親の子育て参加が十分に進んでいないこと等、家庭での子育てには様々な困難があります。今後は、子育てを社会全体の課題として捉え、家庭、地域、企業、行政が、子育ての役割を分担していくことが重要です。

そのためには、各種施設を有効に活用して、地域の子育て支援体制を充実していくことが課題といえます。

町の子育て支援サービスへの要望（就学前児童）



町の子育て支援サービスへの要望としては、「充実すべき」という回答が多いものとして、＜児童館＞（51.5%）、＜両親学級、育児相談＞（42.2%）を上回って、＜地域子育て支援センター（一時保育室）＞が 54.6%を占めている点が注目されます。また、＜地域子育て支援センター（身近な地域における相談や親同士の交流の場）＞の充実を求める人も 42.0%と多くなっています。

（資料：三芳町 次世代育成支援に関するニーズ調査報告書 平成 16 年）



## 具体的事業

事業名	事業内容	担当課
7 子育て支援センターの充実	<p>多様化する保育ニーズに対応するため、子育てに関する相談、情報の提供、子育てグループの支援や各種サービスの提供など、社会福祉協議会と連携して、子育て家庭を総合的に支援する子育て支援センターを充実します。</p> <p>相談体制の充実 情報提供体制の充実 子育てグループの支援</p>	福祉児童課
8 保育所の充実	<p>保育需要を見極め、民間活力の活用を図りながら、保育所の適正な配置に努めます。</p>	福祉児童課
9 保育所の多機能化の推進	<p>身近な場所で子育てに関する相談や育児講座、子育て中の親の交流などを行う拠点として、保育所の多機能化を推進します。</p>	福祉児童課
10 認可外保育施設の充実	<p>保育行政の補完的機能を持つ家庭保育室の環境整備への協力体制の充実を図ります。</p>	福祉児童課
11 学童保育室施設の充実	<p>放課後留守家庭の児童の健全な育成を図り、保育ニーズに応えるため学童保育室施設を充実します。</p>	福祉児童課
12 児童館の充実	<p>地域における子どもの健康の増進と情操を養成するため、児童館の充実を図ります。 とくに、異年齢児との交流を推進し、児童の健全育成を図ります。</p>	福祉児童課
13 療育施設の充実	<p>障害のある児童の自立支援のため、療育施設の充実を図ります。</p> <p>みどり学園 相談の充実・指導室の整備</p>	福祉児童課
14 町主催事業における託児サービス	<p>情報化社会に対応するため、乳幼児のいる親が、各種講座等、町の主催する事業へ参加できるよう、主催場所において、一時保育等の託児サービスを推進します。</p>	事業担当課

## 主要課題3 子育て支援のネットワークづくり

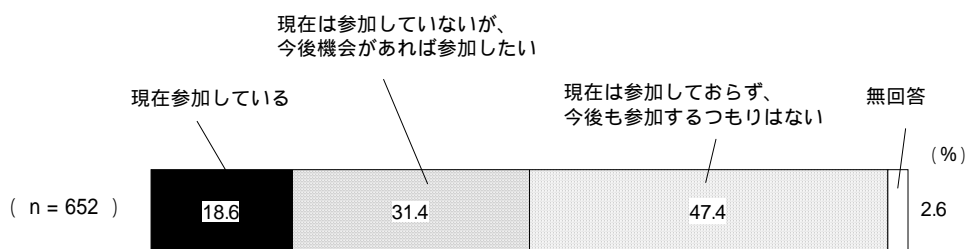
### 現状と課題

少子高齢化や都市化が進展する中で、地域社会では人間関係が希薄化し、近所同士で助け合って子育てをすることが少なくなったため、子育て家庭の孤立化や地域の育児力の低下が進むなど、子どもとその家庭を取り巻く地域社会の環境は大きく変化しています。

今後は、子育ては地域のみならずのものという観点に立って、地域の人々が協力して、子育て家庭を支援していくことが必要です。

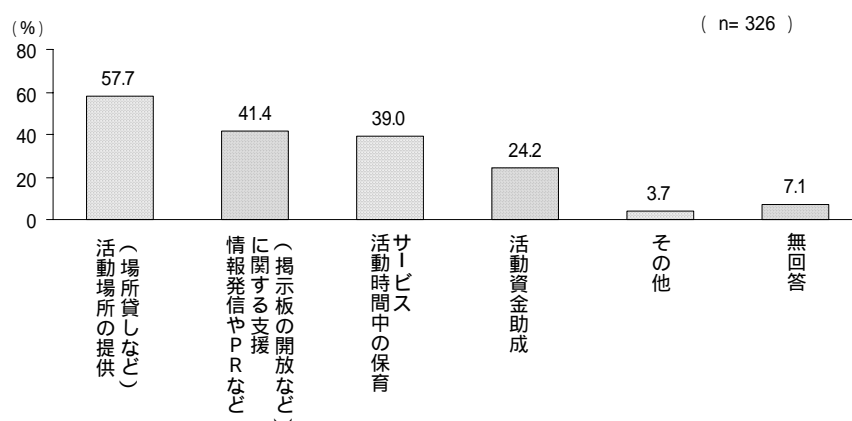
とりわけ、地域の人々やボランティア、NPOとの協働による子育て支援体制を充実することが極めて重要な課題といえます。

### 子育てに関するサークル等、自主的な活動の有無（就学前児童）



子育てサークルに「現在参加している」は 18.6%です。また、「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」という人は 31.4%を占めている。一方、「現在も参加しておらず、今後も参加するつもりはない」は 47.4%となっています。

### 自主活動をするにあたって行政にしてほしい支援（就学前児童）



子育てサークルへ参加している人、または参加意向のある人（全体の 50.0%）に、どのような行政の支援を求めるかきいたところ、「活動場所の提供（場所貸しなど）」が 57.7%で最も多く、これに「情報発信やPRなどに関する支援（掲示板の開放など）」（41.4%）が次いでいます。

（資料：三芳町 次世代育成支援に関するニーズ調査報告書 平成 16 年）

## 具体的事業

事業名	事業内容	担当課
15 子育てネットワークづくり	<p>子育て支援センターや身近な児童館、保育所などを利用し、子育てグループや子育てサポーターの育成と支援の強化に努めます。</p> <p>子育てグループの育成と支援 子育てサポーターの育成と支援</p>	福祉児童課 環境衛生課 生涯学習課
16 <sup>*1</sup> ファミリーサポートセンターの充実	<p>仕事と育児の両立のため、育児を必要とする町民が、育児を提供できる町民から、子育て支援を受けられるファミリーサポートセンター事業を推進します。</p>	福祉児童課

### \*1 ファミリーサポートセンター

育児の援助を行いたい人と育児の援助を受けたい人との仲立ちをして、地域における育児の相互援助活動を行うセンター。

具体的には、保育園等の保育開始前や終了後に子どもを預かる、子どもを保育園等へ送迎をする、親の用事や子どもの病気（軽度）のとき、臨時的に預かる等の援助活動を行なう。

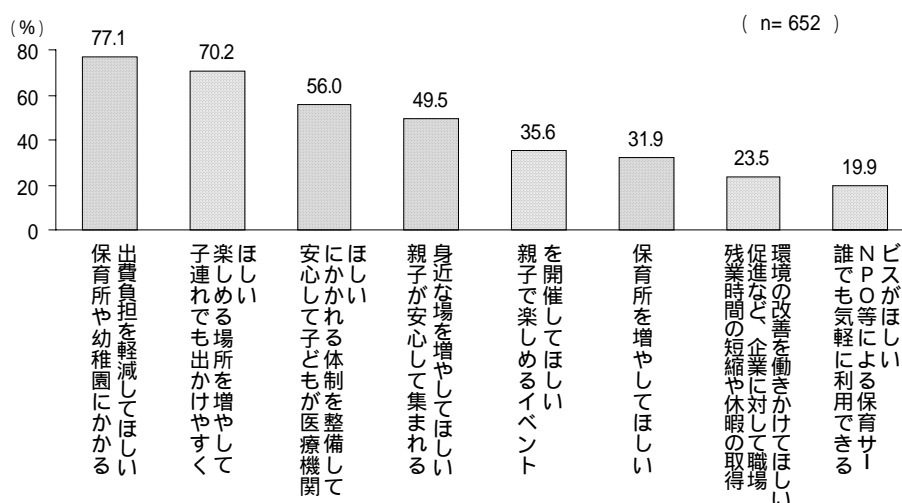
## 主要課題 4 経済的支援の充実

### 現状と課題

近年、親が持ちたいと思っている子どもの数よりも、実際の子どもの数が少ないという家庭が増加する傾向を示していますが、その最大の原因としてあげられるのが経済的負担の大きさです。子どもが生まれてから社会人になるまでにかかる、教育費などの子育て費用が、親にとって大きな負担となっている現実がうかがわれます。

しかし、少子化の進展がこのまま続けば、社会から活力が失われるなど、社会にとって深刻な影響が出るものと予想されます。経済的支援の充実は、子どもをもちたいという親の願いをかなえるための最も重要な課題といえます。

三芳町への子育て支援への要望（上位8位）（就学前児童）



三芳町の子育て支援に対する要望としては「保育所や幼稚園にかかる出費費用を軽減してほしい」が77.1%と圧倒的に多く、これに「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」（70.2%）が次いでいます。

また、他の項目では「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」が56.0%と過半数を占めているほか、「親子が安心して集まれる身近な場を増やしてほしい」（49.5%）、「親子で楽しめるイベントを開催してほしい」（35.6%）との要望も多くなっています。

（資料：三芳町 次世代育成支援に関するニーズ調査報告書 平成16年）

## 具体的事業

事業名	事業内容	担当課
17 児童手当支給	家庭生活の安定と児童の健全な育成を図るため、小学校3年生までの児童を養育している方に対して手当を支給します。	福祉児童課
18 乳幼児医療費の助成	就学前の乳幼児が病気などで保険診療を受けた場合、その医療費の自己負担分を助成します。	健康課
19 ひとり親家庭等医療費助成	18歳未満の児童、または、20歳未満の障害者を養育している母子及び父子家庭等に対し、医療機関で保険診療を受けた場合、その医療費の一部を助成します。	健康課
20 特殊教育就学奨励費補助	特殊学級に就学する児童・生徒の保護者に対して、就学奨励事業を行います。	学校教育課
21 要保護及び準要保護児童生徒援助費補助	経済的理由により就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対し、必要な援助を行います。	学校教育課
22 幼稚園への就園補助	3、4、5歳児を幼稚園に通園させている保護者に対し、就園奨励費補助金を支給します。	教育委員会 総務課

## 主要課題5 ひとり親家庭への支援の充実

### 現状と課題

近年、離婚や交通事故などにより、母子家庭、父子家庭などのひとり親家庭が増加する傾向を示しています。

母子家庭の場合、厳しい労働条件の中で働く母親が多いため、経済的にも恵まれないケースが少なくありません。しかも、女性は仕事に加えて家庭責任を背負っています。

一方、父子家庭の場合、経済的には母子家庭より恵まれているものの、家事や子育ての問題が生じています。

また、ひとり親家庭等の子どもは、働いている親が帰宅するまでの間家族の保護を受けることができません。

今後は、ひとり親家庭の親と子どもが安心して生活していけるよう、子育てや生活支援、就業支援、養育費の確保策及び経済的支援等を充実していくことが課題です。

## 具体的事業

事業名	事業内容	担当課
23 福祉資金貸付	ひとり親家庭の生活の安定と経済的支援を推進するため、福祉資金の貸付けを行います。	福祉児童課
24 相談体制の充実	児童相談所等の関係機関と連携するとともに、教育・福祉・保健の関係課が連携して相談体制を充実し、自信をもって育児ができ、子どもが健やかに成長できるように努めます。	福祉児童課
25 児童保護の充実	里親制度と養護施設の利用については児童相談所、母子生活支援施設の入所については人間東福祉保健総合センターと連携・調整を図りつつ、適切な対応に努めます。	福祉児童課
26 ひとり親家庭相談	ひとり親家庭の悩みを解決するため、人間東福祉保健総合センターと連携を図りつつ、女性相談員による相談を実施します。	福祉児童課
27 ひとり親家庭児童就学祝品	小学校、中学校に就学予定の児童を扶養するひとり親家庭に対して、申請に基づき祝品を支給します。	福祉児童課
28 ひとり親家庭児童就学支度金	中学校に就学予定の児童扶養するひとり親家庭に対して申請に基づき支給します。	福祉児童課
29 児童扶養手当支給	父親と生計を同じくしていない児童が育成される母子家庭等の生活の安定と自立を促進するため、手当を支給します。	福祉児童課
30 J R 通勤定期乗車券の割引制度	児童扶養手当の受給世帯員が J R 通勤定期乗車券を購入する際、割引きで購入できます。	福祉児童課



## 主要課題6 障害児のいる家庭への支援の充実

### 現状と課題

障害のある子どもの親の中には、子どもの介護のために重い負担を背負っている人が少なくありません。また、子どもの療育や、子どもと健常児の交流などの面でも、様々な問題に直面しています。

ノーマライゼーションの理念のもとに、障害児やその家族が地域の人々と交流していけるように、意識啓発をすることが大きな課題といえます。

また、障害の早期発見、早期療育に努め、各種相談体制の充実を図るとともに、障害児の訓練育成を充実させ、障害のある子どもの社会的自立を支援していくことが課題です。

さらに、学習障害(LD)、注意欠陥/多動性障害(ADHD)、高機能自閉症等教育及び療育に特別のニーズのある子どもについて、教員の資質向上を図りつつ、適切な教育的支援を行うことが必要です。

また、保育所や放課後児童健全育成事業における障害児の受入れを推進するとともに、各種の子育て支援事業との連携を図ることが課題です。

## 具体的事業

事業名	事業内容	担当課
31 相談体制の充実	障害を持つ乳幼児の家族からの各種相談について、関係機関と連携を図りながら相談体制の充実に努めます。	福祉児童課
32 就学相談・指導	障害のある児童・生徒の一人ひとりの個性や能力が最大限伸ばせるよう、障害の程度・種類などに応じた就学相談・指導の充実に努めます。	学校教育課
33 レスパイト事業	在宅心身障害児の家庭における介護が、家族の急病などで一時的に困難になった場合、短期間保護するレスパイト事業を実施します。	福祉児童課
34 通所訓練施設などの整備	障害のある人の地域での自立を支援するため、通所訓練施設などの整備に努めます。	福祉児童課
35 就学前通所訓練事業	障害のある乳幼児の通所訓練、療育指導及び相談を行い、保育を通じて子どもの発達と障害についての正しい理解を図っています。  通所訓練の充実 療育指導・相談の充実	福祉児童課

## 基本目標 2 子どもと親の健康づくりのために

- ( 1 ) 子どもや母親の健康の確保
- ( 2 ) 食育の推進
- ( 3 ) 思春期保健対策の充実
- ( 4 ) 小児医療の充実

## 基本目標 2 子どもと親の健康づくりのために

### 主要課題 1 子どもや母親の健康の確保

#### 現状と課題

女性には、結婚、妊娠、出産等のライフステージの変化に対応した健康づくりが必要です。

とりわけ、妊産婦は、妊娠、出産、育児に対して不安を抱いているケースが多く、正確な情報提供や適切な助言を行なうことで母親の負担を軽減していくことが重要です。

また、乳幼児の病気の予防や早期発見に努め、子どもを病気から守ることも大切な課題といえます。

#### 妊娠中、母親が精神的に不安定になったこと（就学前児童）



母親が妊娠中、精神的に不安定になったことが「よくあった」は 13.0%で、これに「時々あった」(39.7%)を合わせた<あった>は 52.7%と過半数を占めています。

#### 出産後、母親が精神的に不安定になったこと（就学前児童）



母親が、出産 1 ヶ月くらいの間精神的に不安定になったことが「よくあった」は 14.1%で、これに「時々あった」(40.0%)を合わせた<あった>は 54.1%と過半数を占めています。

(資料：三芳町 次世代育成支援に関するニーズ調査報告書 平成 16 年)

## 具体的事業

事業名	事業内容	担当課
36 乳幼児健康診査	定期健康診査により、疾病や発達異常の早期発見と予防に努めます。 3か月児健康診査、9～10か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査	環境衛生課
37 母子健康教育	妊産婦、乳幼児の健康の保持増進と、仲間づくりの支援を行います。 両親学級（母親学級） 離乳食講座等 育児学級	環境衛生課
38 母子訪問指導	訪問指導によって、妊娠、出産、育児の不安の解消を図り、健康の保持、増進に努めます。 とくに、若年及び高齢妊産婦への支援を図ります。 妊産婦、訪問指導 新生児訪問指導	環境衛生課
39 健診後のフォロー体制づくり	発達等、心配のある乳幼児への専門的アドバイスと、適切な対応を図ります。 発達・健康・心理・言語相談	環境衛生課
40 両親学級（母親学級）	妊娠中の女性などが、妊娠、出産、育児、栄養、歯科などについて正しい知識を持ち、健康の保持・増進を図れるよう、両親学級（母親学級）を実施します。	環境衛生課
41 予防接種事業	予防接種法の主旨を踏まえ、受けやすい環境を整え、予防接種を周知・実施します。	環境衛生課
42 乳幼児歯科相談事業	乳幼児の口腔の健全な発育を促し、心身の健康増進を図るため、継続的な診査・指導を行い、子どもの歯科保健に関する不安・悩みに応えていきます。	環境衛生課
43 歯科健康教育	3歳児健診終了後の歯科検診について、保育所等と連携を取り、ブラッシング教室等の実施を図ります。	福祉児童課 環境衛生課
44 健康相談体制の充実	母と子の健康について気軽に相談できるよう、医療機関や保健所との連携により、相談体制の充実を図ります。	環境衛生課

事業名	事業内容	担当課
45 健康教室・講演会の開催	<p>母親の健康の維持・増進のため、女性が健康についての正しい知識を身につけられるよう、各種の教室、講演会の開催について検討します。</p> <p>各種の教室の開催 各種の講演会の開催</p>	環境衛生課
46 不妊に対する情報の提供体制の整備	<p>不妊治療を実施している医療機関と、治療に関する相談機関の情報や動向を保健所と連携を取り把握し、町民への提供体制の整備を進めます。</p>	環境衛生課

## 主要課題 2 食育の推進

### 現状と課題

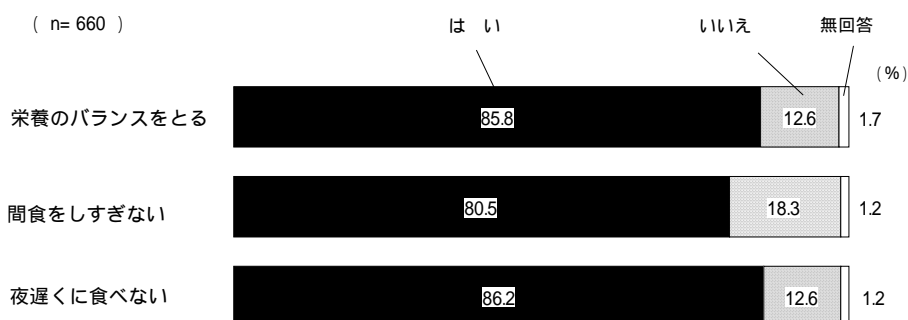
心身ともに生涯を通じて健康に生活するためには、子どもの頃から適切な生活環境を整えることが必要です。そのためには、親の生活習慣が子どもに与える影響を考え、乳幼児期から親子で規則正しい生活習慣を身に付けるようにしていくことが求められます。

とくに、健康づくりにとって、子どもの頃から正しい食生活を身につけることが重要です。

しかしながら、近年、子どもたちの間では、朝食欠食等の食習慣の乱れや、思春期やせ等の健康問題が生じています。

そこで、乳幼児期から思春期まで発達段階に応じた食に関する学習の機会や情報提供を進め、望ましい食習慣の定着を図るとともに、食を通じて豊かな家庭が築けるようにしていくことが課題です。

#### 子どもの食事について意識的に気をつけていること（小学生）



子どもの食事に関してしていることとしては、<夜遅くに食べない>が 86.2%、<栄養のバランスをとる>が 85.8%、<間食をしすぎない>が 80.5%となっています。

(資料：三芳町 次世代育成支援に関するニーズ調査報告書 平成 16 年)

## 具体的事業

事業名	事業内容	担当課
47 栄養健康教育の充実	栄養士による各種健康教育事業を充実し、食を通じた健康づくりを支援します。	環境衛生課
48 食育事業の推進	子どもの「食べる力」を育てるために、発育・発達過程に応じた食育事業を推進します。	環境衛生課
49 栄養相談の充実	乳幼児健診や乳幼児相談等において、栄養士による相談を充実し、食を通じた健康づくりを支援します。	環境衛生課
50 食に関する情報提供	乳幼児健診や健康教育等において、保護者を対象に望ましい食生活に関する資料・情報の提供を行います。	環境衛生課
51 保育所における食育の推進	保育所の食事・行事・日常の保育を通して、児童の良い食習慣を形成します。また、保護者を対象に「食育」に関する学習、指導の充実を図ります。	福祉児童課
52 地区組織の活動支援	地区組織を育成し、活動を支援します。 食を通じた子どもの健全育成を目的に活動する地区組織を育成し、食育事業の活動を支援します。	環境衛生課
53 食事の体験活動の充実	子どもの食べる意欲を育むための食体験活動を充実します。	環境衛生課
54 保健、教育等の連携の推進	保健、教育の連携により、子どもの成長に応じた取り組み（食に関する学習機会や情報の提供）を進めます。	環境衛生課



## 主要課題3 思春期保健対策の充実

### 現状と課題

学童期から思春期にかけては第二次性徴期を迎え、心身ともにめざましく成長する時期です。同時に、様々な体験を通して達成感を味わい、繰り返し経験することで新たな取り組みに挑戦し、生きる力を身につけ、自分らしさを形成していく大切な時期でもあります。

近年、学童期から思春期において、喫煙、飲酒、薬物乱用、過剰なダイエット等、生活習慣の乱れが健康問題としてクローズアップされています。このような現状を踏まえ、子どもたちが自分の心や身体の変化を知り、自分を大切にし、健やかに成長できるよう支援することが必要です。

そこで、喫煙や飲酒、妊娠やエイズ等の健康づくりや性に関する正しい知識の普及を推進していくことが必要です。

また、学童期から思春期にかけては精神的な悩みを抱えることが多く、子どもに対する相談・支援体制を充実させていくことも重要です。

## 具体的事業

事業名	事業内容	担当課
55 学校カウンセリング研修会の実施	学校カウンセリングの研修会を受講し、教員として必要な生徒指導・教育相談の理論や技法を習得し、教育活動に活かせる実践力の向上を図ります。	学校教育課
56 学校保健との連携	小学校、中学校の児童・生徒を対象に、子どもたちが自分を大切に「生きる力」を身につけていけるよう、学校保健と地域保健が連携を取り、総合的に健康教育を実施していきます。	学校教育課 環境衛生課

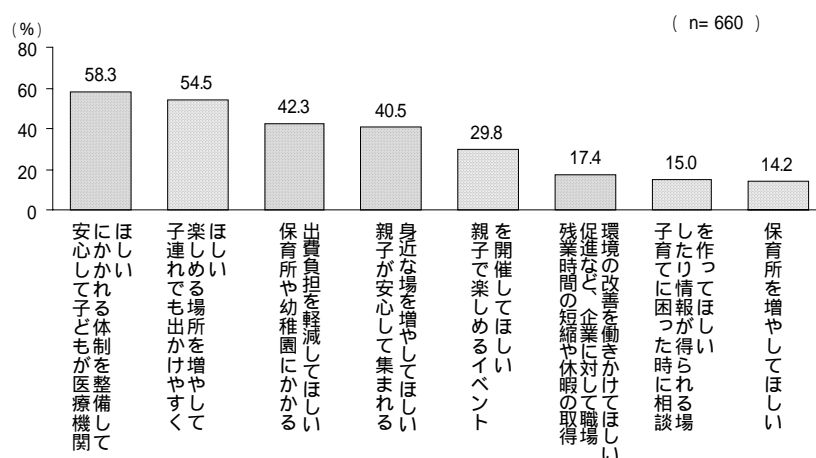
## 主要課題4 小児医療の充実

### 現状と課題

乳幼児期は急病やケガ・事故などが起こりやすい時期です。安心して子育てをするためには、小児救急医療体制が不可欠です。

そこで、小児救急医療について、県や近隣の市町村及び関係機関との連携の下に、積極的に取り組むことが課題です。

三芳町への子育て支援への要望（上位8位）（小学生）



町の子育て支援に対して期待することとしては、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」（58.3%）と「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」（54.5%）の2項目が、いずれも5割を超え特に多くなっています。また、「保育所や幼稚園にかかる出費負担を軽減してほしい」（42.3%）、「親子が安心して集まれる身近な場を増やしてほしい」（40.5%）ことへの期待も高くなっています。

（資料：三芳町 次世代育成支援に関するニーズ調査報告書 平成16年）

## 具体的事業

事業名	事業内容	担当課
57 緊急医療体制の確保	夜間など急患の場合の対応について、消防署や医療機関との連携をとり、充実を図ります。	環境衛生課
58 小児時間外救急医療の実施	休日急患診療所において平日・夜間における小児時間外救急医療を実施します。 また、二次救急については、小児救急医療対策事業により充実を図ります。	環境衛生課

### 基本目標 3 子どもの心身の健やかな成長のために

- ( 1 ) 子どもの人権の擁護
- ( 2 ) 次代の親の育成
- ( 3 ) 教育環境の充実
- ( 4 ) 家庭の教育力の向上
- ( 5 ) 地域活動の充実
- ( 6 ) 子どもを取り巻く有害環境対策の推進
- ( 7 ) 児童虐待防止対策の充実

## 基本目標 3 子どもの心身の健やかな成長のために

### 主要課題 1 子どもの人権の擁護

#### 現状と課題

現在、学校においては、いじめや不登校などの様々な問題が生じています。

子どもの人権の擁護という観点に立ったとき、この問題を見過ごすことはできません。

このような状況の中で、いじめの防止、早期発見と解決を図るため、家庭、学校、地域が連携を密にしながら、子どもの悩みを受けとめる体制づくりを進めることが課題です。

## 具体的事業

事業名	事業内容	担当課
59 児童の権利に関する啓発	児童の個性と権利を尊重するという考え方を社会に普及、定着させるため「子どもの権利条約」の啓発、普及に努めます。	福祉児童課
60 いじめ・不登校への対応	いじめや不登校などの問題については、学校・家庭・地域社会が連携して、いじめの防止と発見、原因究明など心のケア、心の教育等を念頭に取り組みます。 また、学校での生徒指導の充実に努め、相談や指導の場での適切な対応に取り組みます。	学校教育課
61 相談・カウンセリング	児童・生徒・保護者がいろいろな問題について気軽に相談したり、カウンセリングが受けられるよう、相談事業の充実に努めるとともに、関係機関との連携を強化します。  教育相談室常任相談員による教育相談 中学校への巡回教育相談	学校教育課
62 三芳町児童虐待防止ネットワーク会議	児童虐待問題に対応するため福祉・保健・医療・教育・警察など関係機関が連携し、子どもや家族への援助の方法や対策を協議し対応を図ります。	福祉児童課

## 主要課題 2 次代の親の育成

### 現状と課題

女性と男性が、ともに協力して家庭を築くことや、子どもを生き育てることに喜びを見出し、いきいきと生活できる社会が求められています。

特に、中学生、高校生等が、子どもを生き育てることの意義を理解し、子どもや家庭の大切さを理解することは、次代の親を育成することに結びつくことであり、極めて重要です。

そこで、保育所、幼稚園、学校、児童館及び乳幼児健診の場等を活用し、若い人たちが乳幼児とふれあう機会を広げるための取組を推進することが課題です。



## 具体的事業

事業名	事業内容	担当課
63 中学生の保育ボランティア	町立中学校において「職場体験学習」の保育所選択や、3年生家庭科の保育実習を行います。	学校教育課
64 思春期 - 赤ちゃんふれあい体験学習	<p>学校保健と地域保健が連携を取り、「命の尊さ」をテーマとした健康教育を実施します。</p> <p>その一環として中学生が乳児検診の場において、乳児の抱っこ体験と母との交流を行います。</p> <p>「命の尊さ」についての教育の充実 「乳児との抱っこ体験」「母との交流」の充実</p>	環境衛生課 学校教育課

## 主要課題3 教育環境の充実

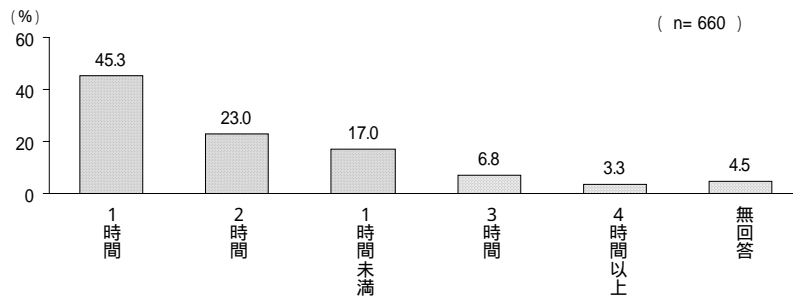
### 現状と課題

子どもが豊かな人間性を育み、健やかに成長できる教育環境が求められています。

子どもが社会の変化の中で主体的に生きていくためには、知識・技能はもとより、学ぶ意欲、思考力、表現力、問題解決能力等まで含めた確かな学力を身に付けさせることが重要です。そこで、子ども一人ひとりに応じたきめ細かな指導の充実等、学校で発育の充実を図ることが重要です。

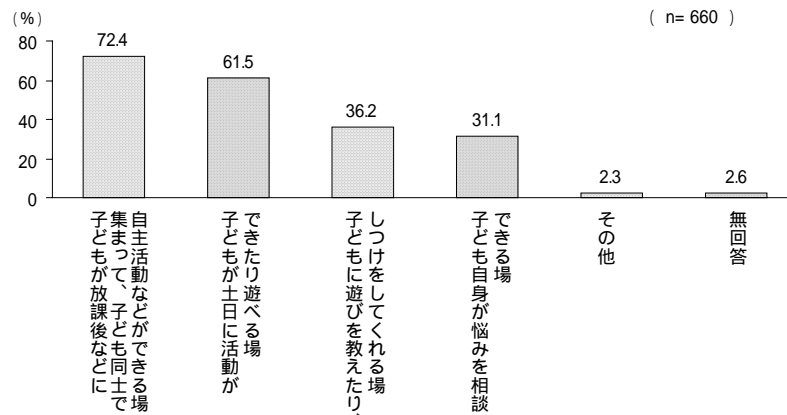
また、子どもが自然とのふれあいや人々との交流を通じて成長できるよう、地域と学校との連携・協力による多様な体験活動を推進することが課題です。

### 子どもがテレビゲーム等で遊ぶ時間（小学生）



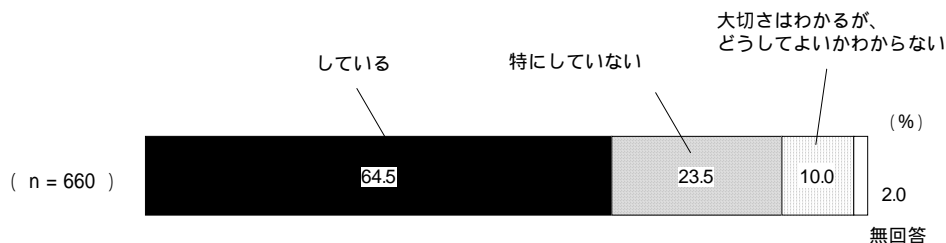
子どもが1日にテレビゲームやコンピュータゲームなどで遊ぶ時間としては、「1時間」が45.3%で最も多く、これに「2時間」(23.0%)が次いでいます。

### 子ども同士の交流場所として望ましい場（小学生）



子ども同士が交流等を行うことのできる場への希望としては、「子どもが放課後などに集まって、子ども同士で自主活動などができる場」が72.4%で最も多く、これに「子どもが土日に活動ができたり遊べる場」が61.5%で次いでいます。

### 子どもに命の大切さを教えているか（小学生）



子どもに命の大切さを教えることを「している」は64.5%を占めています。また、「大切さはわかるが、どうしてよいかわからない」という人も10.0%います。一方、「特にしていない」は23.5%になっています。

(資料：三芳町 次世代育成支援に関するニーズ調査報告書 平成16年)

## 具体的事業

事業名	事業内容	担当課
65 国際社会への対応	英語指導助手を活用し、実践的コミュニケーション能力の育成を図るとともに、中学生海外派遣や海外からの親善訪問団との相互交流を通して異文化理解を推進します。  中学生海外派遣の実施 海外からの親善訪問団との交流の充実	学校教育課
66 情報化社会への対応	各教室でインターネット等が利用できるよう、ITを活用した施策の充実に努めます。	学校教育課
67 環境教育の充実	町内各校の社会・理科など教科学習と関連、発展させながら、「総合的な学習の時間」を活用し、身近な問題から発展した環境教育の充実に努めます。	学校教育課
68 特別支援教育の充実	障害のある児童・生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばせるよう、交流教育を積極的に進めるとともに、障害の程度に応じた教育環境の充実に努めます。	学校教育課
69 小・中学校と保育所等の交流の推進	青少年の健全育成を図るため、小・中学校と保育所や幼稚園の児童・生徒の交流を推進します。	学校教育課
70 体験学習の推進	福祉や環境問題などについて、実際の体験を通じて学習するため、ボランティア活動や校外学習を実施します。  ボランティア活動の充実 校外学習の充実	学校教育課
71 各種スポーツ・レクリエーション大会・教室の充実	子どもの健康の維持・増進を図るため、各種の大会や教室を開催します。  ペタンク大会 グランドゴルフ大会	生涯学習課
72 教育相談活動の充実	教育相談を身近な場所で行えるように、学校教育相談体制の充実に努めます。  教育相談室の機能の充実と相談活動の活性化 町教育相談室等関係機関との緊密な連携	学校教育課

事業名	事業内容	担当課
73 公民館活動の充実	<p>子どもたちの生きる力を育てるため、地域において様々な人との交流を図ります。</p> <p>親子ふれあい自然体験教室 夏休み体験教室 ウィークエンドジョイスクール 竹の子エコクラブ 農業体験講座</p>	公民館
74 児童館活動の充実	<p>児童館において、行事に自主的に参加し、企画立案を通してやる気と根気を育て感動と達成感が得られる場にします。そして、お年寄りと子どもの交流の場を提供し、一緒に遊び、話しをする機会づくりに努めます。</p> <p>また、乳幼児の親子のふれあいを深め、ともだちの輪を広げてお子さんの健全な発達を促し、親同士の交流や情報交換の場を提供します。</p> <p>昔の遊び 竹細工 あそびのへや等</p>	福祉児童課
75 心の教育の充実	<p>生命を大切にし、他人を思いやる心、美しいものや自然に感動する心を育てる教育の充実に努めます。</p>	学校教育課
76 世代間交流の推進	<p>子どもたちと高齢者の交流を図るため、老人ホームへの訪問や保育所での交流会、児童館での伝承遊びなどの各種行事を実施し、また、高齢者の集いの場にも子どもたちを招待し、交流の場の拡大を図ります。</p> <p>老人ホームへの子どもの訪問 保育所での交流会 伝承遊び</p>	福祉児童課

## 主要課題4 家庭の教育力の向上

### 現状と課題

子どもが健やかに成長するためには、家庭が健全であることが基本的条件です。しかし、子育てに自信が持てず、様々な不安や悩みを抱える親が増加しています。

また、子育てに無関心な親がいる一方で、子どもに対する過剰期待、過干渉、過保護により、子どもの自発性が損なわれるケースも見受けられます。

その一方で近年、学校や家庭などで子どもの短絡的・衝動的行動が問題になっています。子どもに我慢することや自分の行動に責任を持つことの大切さを身につけさせていくことが求められています。

今後は、親に対して、子どもの可能性を伸ばし、豊かな心を育むうえでの家庭教育の重要性を再認識させるとともに、子育てに関する知識や技術を得る機会を積極的に提供するなど、家庭の教育力を充実させていくことが課題といえます。

## 具体的事業

事業名	事業内容	担当課
77 子育て講座・ 教室の充実	親が子どもの発達段階に応じた家庭教育の方法を身に付けられるよう、専門の講師による講座等を開催します。 また、育児経験に乏しい親たちの、育児への不安や悩みを解消するため、子育て教室・講座の開設に努めます。	環境衛生課 公民館 福祉児童課
78 育児学級の充 実	育児不安や悩みの解消と、地域で孤立しているお母さんたちの仲間づくりを目的とした育児学級を開催します。	環境衛生課

## 主要課題 5 地域活動の充実

### 現状と課題

子どもが、自ら主体的に判断し、行動し、的確に問題を解決する力や、他人を思いやる心、たくましく生きるための健康や体力を、学校、家庭、地域が相互に連携しながら社会全体ではぐくんでいくことが必要です。

こうした子どもの成長のためには、家庭や学校だけでなく、地域の役割が重要です。

そこで、地域の人々や関係機関等の協力によって、世代間交流の推進及び学校施設の地域開放、スポーツクラブ活動の促進、スポーツ指導者の育成等により、地域の教育力を向上させることが課題です。



## 具体的事業

事業名	事業内容	担当課
79 地域での子どもの参画活動の促進	各種団体等の活動を通して、子ども同士や子どもと地域の人々の交流が図れるよう、各種の活動に対し積極的な支援に努めます。  スポーツ大会 子どもフェスティバル	福祉児童課
80 児童館の健全育成	地域社会の中で、児童の遊び場の拠点として、異年齢集団での遊びや仲間づくりのための居場所づくりに努めます。	福祉児童課
81 青少年団体の育成	子ども会育成会連絡協議会等の青少年の健全育成の推進を目的とした活動全体に対して助成を行う。また、ジュニアリーダー養成講座等の研修を実施する。	福祉児童課
82 青少年主張大会の開催	青少年教育及び青少年に対する理解と認識を深めるため青少年の主張大会を開催します。	福祉児童課
83 学校開放の推進	子どもの地域活動の場として、校庭、体育館等、学校施設の開放を進めていきます。	生涯学習課

## 主要課題 6 子どもを取り巻く有害環境対策の推進

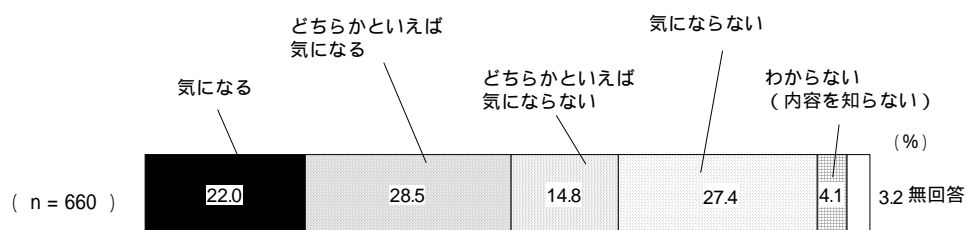
### 現状と課題

街中の一般書店やコンビニエンスストア等では、性や暴力等に関する過激な情報を内容とする雑誌、ビデオ、コンピュータ・ソフト等が販売されています。また、テレビ、インターネット等のメディアには、性、暴力等の有害情報が氾濫しています。

こうした情報は、青少年の健全育成に対して、悪い影響を及ぼすこととなります。

そこで、関係機関・団体やPTA、ボランティア等の地域の人々と連携、協力して、関係業界に対して自主的措置をとるよう働きかける等、こうした有害情報が、子どもの目にふれないようにしていくことが課題です。

子どものゲームの暴力描写等について（小学生）



子どもの遊ぶゲーム等について残虐性が「気になる」が 22.0%で、これに「どちらかといえば気になる」(28.5%)を合わせた「気になる」は 50.5%と過半数を占めています。一方、「どちらかといえば気にならない」は 14.8%、「気にならない」は 27.4%となっています。

(資料：三芳町 次世代育成支援に関するニーズ調査報告書 平成 16 年)

## 具体的事業

事業名	事業内容	担当課
84 健全育成に関する啓発	青少年の健全育成に関する啓発に努めます。	福祉児童課 生涯学習課
85 有害図書立入調査の実施	関係機関との連携を強化し、自動販売機の立入調査を実施するとともに、その撤去に向けての働きかけを行います。	福祉児童課
86 非行防止活動等ネットワークづくり 新規	青少年育成三芳町民会議で検討します。	生涯学習課
87 健全育成に関する審議連絡調整	三芳町青少年問題協議会で、健全育成に関する審議、連絡調整を図ります。	福祉児童課
88 健全育成対策の充実	非行防止啓発活動、文化、スポーツ等コミュニティ活動、青少年活動指導者の育成等を通じて地域社会が一体となり、健全育成対策を推進します。 また、子どもの権利を侵害する児童買春、ポルノ等を防止するため、児童買春・児童ポルノ法の普及啓発に努めます。  青少年活動指導者の育成 児童買春・児童ポルノ法の普及啓発	福祉児童課 生涯学習課
89 青少年育成推進員活動への支援	青少年育成埼玉県民会議長から委嘱された青少年育成推進員による様々な活動を支援します。	生涯学習課

## 主要課題7 児童虐待防止対策の充実

### 現状と課題

家庭で父親や母親が子どもに暴力をふるう児童の虐待が、大きな社会問題となっています。その背景には、親の子育て知識や経験の不足から来るストレスや育児ノイローゼなど、様々な要因が働いていると言われています。

このような児童虐待は、従来家庭内部の問題として処理されることが多く、なかなか表面化することはありませんでした。

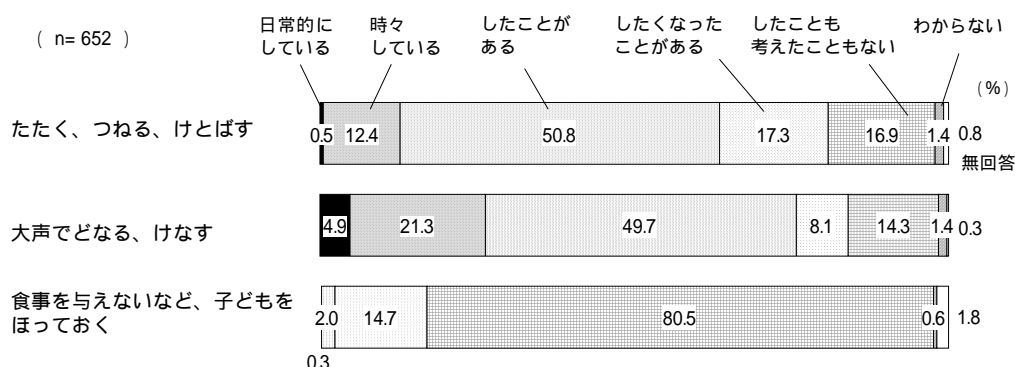
しかし、子どもの人権の擁護という観点に立ったとき、この問題を見過ごすことはできません。

児童虐待を防止するためには、発生予防から早期発見・早期対応、保護・支援・アフターケアまでの総合的な支援体制を確立するとともに、福祉のみならず、医療、保健、教育、警察等の関係機関との連携を強化していくことが重要です。

とくに虐待防止ネットワークは、予防から自立支援に至るまですべての段階で有効であり、関係行政機関のみならず、NPOやボランティア団体等も含めた幅広い参加のもとに、設置に取り組むことが課題です。

今後は、関係機関による横断的な組織体制を整備し、児童虐待の防止と発見、子どもの保護に努めるとともに、家庭内暴力や虐待などの問題を抱える「危機的状況にある家庭」に対し、家庭全体を総合的に支援していく体制づくりなども重要です。

### 親の感情にまかせた行為をした経験（就学前児童）



日常生活における子どもへの対応をみると、<たたく、つねる、けとばす>については、「日常的にしている」が 0.5%で、これに「時々している」（12.4%）、「したことがある」（50.8%）を合わせた<ある>は 63.7%を占めている。また、「しなくなったことがある」も 17.3%います。

<大声でどなる、けなす>については、「日常的にしている」が 4.9%で、これに「時々している」（21.3%）、「したことがある」（49.7%）を合わせた<ある>は 75.9%を占めています。また、「しなくなったことがある」も 8.1%います。

一方、<食事を与えないなど、子どもをほっておく>については「日常的にしている」は 0.0%、「時々している」も 0.3%と極めて少なく、これらに「したことがある」（2.0%）を合わせても、<ある>は 2.3%に留まっています。

（資料：三芳町 次世代育成支援に関するニーズ調査報告書 平成 16 年）

## 具体的事業

事業名	事業内容	担当課
90 虐待に関する 相談の充実 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">新規</div>	家庭における適切な児童の養育と、養育に関連して発生する児童の問題の解決を図るため、専門的知識をもった相談員による相談、指導を行います。	福祉児童課
91 虐待の早期発見と予防	健康相談、健康診査、訪問指導等あらゆる機会における児童虐待の早期発見や関係機関と連携した支援をします。	環境衛生課 福祉児童課
92 主任児童委員、民生児童委員の活用	児童虐待の早期発見、早期対応のための主任児童委員、民生児童委員の積極的活用を推進します。	福祉児童課
93 緊急一時保護	必要な児童に対して調査を実施し、必要と認められる場合、児童相談所に通告を行います。	福祉児童課
94 三芳町児童虐待防止ネットワーク会議 (再掲 P 63 参照)	児童虐待問題に対応するため福祉・保健・医療・教育・警察など関係機関が連携し、子どもや家族への援助の方法や対策を協議し対応を図る。	福祉児童課